

広報 みどりの風

~Wind of Green~

No.198 2022年 5月号 飯田市農業振興センター 飯田市鼎東鼎281番地(飯田市農業課内) ☎0265(21)3217 <https://www.iida-nougyou.com/>

市田柿特認生産者

市田柿の規模拡大を目指す生産者を支援します。

市田柿特認生産者認定制度は、市田柿の出荷量確保と品質向上を図り、市田柿ブランドを維持しようとする規模拡大生産者を育成支援するための制度です。認定を受けると、重点的な支援を受けることができます。市田柿の生産規模拡大を目指している方、制度の詳細等を知りたい方は、お気軽にご相談ください。

●市田柿特認生産者に対する主な支援

- 飯田市の市田柿に関する補助事業について、一般生産者より高い補助率で支援を受けることができます。

- 生産団体と協力し市田柿生産に関する助言等、規模拡大を支援します。

応募要件

要件①

飯田市に住所(農地所有適格法人にあっては主たる事務所の所在地)を有し、市内で現在農業経営を営んでいること。

要件②

市田柿の栽培と加工を行い、市田柿の出荷量(干上量)1.0t以上で、市田柿栽培面積10a以上であること。

認定基準

1

5年後の市田柿の生産目標は、市田柿の出荷量(干上量)が2.0t以上で、栽培面積20a以上であり、確実に目標を実現できる見込みがあること。

2

市田柿生産の規模拡大や改善に積極的に取り組む意欲と能力を有し、地域の中核として先導的な立場で取り組み、地域における市田柿の振興を図ることが期待できること。

3

市田柿の魅力や価値を高めるための取り組みを行うとともに、市田柿ブランド推進協議会等の市田柿のブランドを高める取り組みに参画すること。

お問合せ先

飯田市農業課 生産振興係 ☎0265-21-3217



見直そう! 農業機械作業の安全対策

長野県 春の農作業安全月間 5月1日～5月31日

春の農作業期を迎え、農作業事故が増える時期です。農作業中の事故において年間300人前後の方が亡くなっています。そのうち高齢者や不慣れな方による事故の割合が非常に高くなっています。特に全国的に死亡事故が多発している乗用型トラクターについては、以下の3つのポイントを守り、重大な事故の防止に努めましょう。

ポイント①安全フレーム装着とシートベルト、ヘルメットの着用

安全フレームやシートベルトが付いているトラクターを利用しましょう。運転中は必ずシートベルトとヘルメットを着用し、万が一の事故に備えましょう。

ポイント②確実な運転操作とブレーキ連結の確認

直角カーブ、鋭角カーブ、坂道走行、狭い道幅、草むらなど、道路状況に応じた確実な運転を行いましょう。また、道路走行前には必ず左右のブレーキを連結しましょう。

ポイント③ランプ類や低速車マーク等の貼り付け

道路では、後続車にわかりやすい位置に「低速車マーク」や「反射板」を設置しましょう。運転前に泥などで汚れていないかの確認を忘れずに行いましょう。

お問い合わせ先 飯田市農業課 生産振興係 ☎0265-21-3217

農業機械の研修も開催されます!

長野県が主催する研修です。受講して、農作業安全のために必要な知識や技能を身につけましょう。

- ①大型トラクター操作技能研修
- ②乗用型農業機械操作研修
- ③農業機械・施設利用技術向上研修
- ④農作業安全推進研修

詳細はこちらから



11月に収穫できる玉ねぎを栽培してみませんか?

飯田市農業振興センターでは、農産物栽培加工研究会と協力して「セット球栽培」により11月以降に収穫できる玉ねぎの栽培方法を研究してきました。その結果、一般の方にも栽培できる玉ねぎの栽培方法を概ね確認しました。この玉ねぎは、辛みが少なく味の良い品種で直売所等の販売も始まっています。同研究会では、令和4年度も栽培希望者を募集し、種球を販売します。栽培を希望される方は、飯田市農業振興センターへご連絡ください。

《セット球栽培とは?》

春に種をまき、5月頃10円玉くらいになつたら一度掘り上げ乾燥して保管します。8月後半に、保管した種球を定植し、11月～1月頃に収穫します。今回は3月に播種して掘り上げ乾燥保管した種球を販売します。



- 説明事項
- ①種球の申込みは、100球単位とします。面積は100球で1m×4m程度です
 - ②種球価格は1球あたり約15円を想定しています。
 - ③種球の配布は7月中旬を予定しています。
 - ④種球配布と定植時期には栽培指導会を行います。

申込締切
5月31日
まで

お申込み・お問合せ先

飯田市農業振興センター ☎0265-21-3217